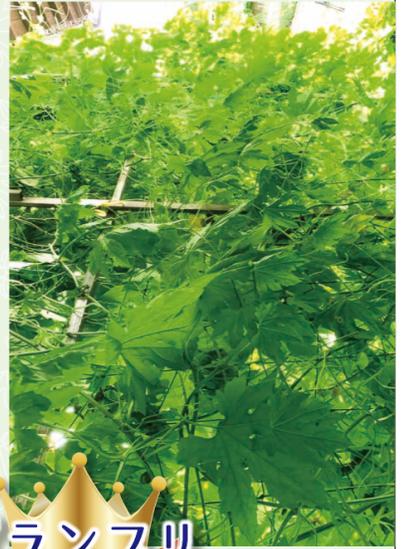


あびこショッピングプラザ主催 ゴーヤのカーテンコンテスト 受賞作品発表

あびこショッピングプラザでは SDGsに基づき、地球温暖化防止の一環として、夏の暑い日差しをさえぎり、室温上昇を抑えるための「グリーンカーテン」の普及を応援しています。

この取り組みの輪を広げるために、独自の「ゴーヤカーテンコンテスト」を実施しました。どれも甲乙つけがたい作品ばかりでしたが、今回は、ゴーヤを植えるだけでなく、収穫したゴーヤを活用するなどの工夫面を重視して選定いたしました。



岡田 文雄様 (我孫子市)
地植え栽培

●カーテンの効果

気温が30度を超える日でも、ゴーヤカーテンのある部屋の室温は26～28度と快適に過ごせました。8月の猛暑でも、日差しが入らない分、冷房の効率が良く感じました。ゴーヤの葉に水をかけると、窓から入る風も涼しく、柔らかく感じました。

●アピールポイント

1階の洋室前の庭に木枠を作り、苗から育てました。肥料は買わず、自分たちが食べたバナナやメロンの皮などを再利用しました。心なしか、苦味が抑えられた気がします。毎年ゴーヤを育てていますが、その年によって多く収穫できたりと結果はさまざまです。食べきれないゴーヤはご近所に配って喜ばれています。また昨年実がなりすぎて落ちてしまったゴーヤを庭に埋めておいたら、自然に発芽し、塀のフェンスにもゴーヤが茂り、実も収穫できました。植物の生命力の強さに感心しています。



岩波 翔一様 (我孫子市)
地植え栽培

●アピールポイント

窓が南向きなので直射日光を遮り、エアコン効果がアップしました。2階のベランダまで伸びるゴーヤの元気の良さに驚きました。



南光 晶子様 (柏市)
プランター栽培

●カーテンの効果

日差しをよく遮ってくれて、1階の和室とテラスのテーブルは日陰になり、涼しく過ごせました。

●アピールポイント

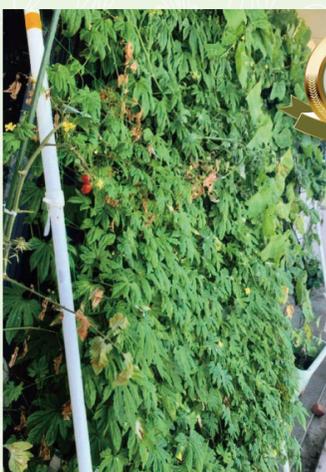
息子夫婦が沖縄で暮らしているので、ゴーヤは好きでよく食べていました。夏を乗り切るにはとても良い野菜だと思い、3年前から育て始めました。2週間に1度肥料をあげて、コンパニオンプランツのネギを足元に植えて、虫よけにしました。朝晩の水やりが欠かせませんでした。そしてゴーヤがたくさん収穫できたので、いろいろな料理で楽しみました。見た目にも涼しく、食べて美味しく、とても有意義なグリーンカーテンでした。



佐藤 則子様 (我孫子市)
プランター栽培

●アピールポイント

東向きのマンションの我が家は、夏の朝陽がきついのですが、ゴーヤを植えたら効果はバッチリ! 日中はエアコンいらずで過ごせました。見た目のグリーンと葉のさやめきが涼を運んでくれました。ゴーヤの実も食材としても重宝しました。今年は我が家のSDGsを意識して、隣にヘチマも植えました。これから自家製タワシを作る予定です。



坂巻 伸太郎様 (柏市)
地植え栽培

●アピールポイント

ゴーヤカーテンのおかげで、設定室内温度が28度で充分でした。芝生部分が陰になるように設計し、ゴーヤは良く育ったと思います。ゴーヤを食べるのに少し苦労しました。

